

日语语法

にほんごのぶんぽう

ノーハウ

聂中华 姜群星 编 著

精解



湖南人民出版社

H364/32

日语语法

にほんごのぶんぽう

ノーハウ

湖南人民出版社



精解

首都师范大学图书馆



21690377

RBA25/04

图书在版编目 (CIP) 数据

日语语法精解 / 聂中华, 姜群星编著. —长沙:
湖南人民出版社, 2004.6

ISBN 7-5438-3690-4

I. 日... II. ①聂...②姜... III. 日语-语法
IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 057609 号

责任编辑: 聂双武
郭平
装帧设计: 卜艳冰

日语语法精解

聂中华 姜群星 编著

*

湖南人民出版社出版、发行

(长沙市营盘东路3号 邮编:410005)

湖南省新华书店经销 长沙市富洲印刷厂印刷

2004年6月第1版第1次印刷

开本:850×1168 1/32 印张:7.375

字数:160,000 印数:1-6,000

ISBN7-5438-3690-4

H·131 定价:11.80元

前 言

日语语法对于日语专业的学生来说，是学习中的难点。对于非日语专业的学生来说，要正确理解，掌握日语语法就更非易事。现在社会上有各种各样的语法书，一般也都是以日语专业学生为对象编写的，语法书中的内容基本上都与日语精读课本上的内容大同小异，主要是对各有关项目分门别类，逐一予以阐述而已。学生在精读课、基础日语课上没有弄明白的东西，看了语法书后依然模糊不清。更何况非日语专业的学生，因语法基础薄弱，学习课时又少，要求他们在较短的时间内理解和掌握日语的基础语法知识确非易事。因此，作为二外日语语法的指导用书，笔者针对这类学生的学习特点，在编写时遵循了以下原则：

①基础日语课文中讲述过的语法内容，尽量用最通俗、简洁的语言归纳、总结。摒弃繁冗论述，立足于精解，通过剖析典型例句，达到画龙

点睛、举一反三之功效。

②以《大学日语二外教学大纲》、《国际日语水平考试四、三级语法大纲》为指导，将容易混淆的词语、句型作为编写重点，深入分析其区别和应用范围，在语义辨异上力求确切。

③语法要点齐全、条目清晰，读者既可循序渐进，作系统研读，也可按图索骥，有针对性地选读。具有查阅方便、针对性强和注重实效的特点。

④围绕二外日语考级这一中心，采用突出重点、兼顾一般的原则，务求析义精确，覆盖面广。通过较短时间的学习，使学习者即可达到考级所需的水平。

本书分工如下：

浙江工商大学聂中华副教授：第一、二、三、四、六章。

浙江师范大学姜群星教授：第七章。

浙江财经学院李惠娟老师：第五章。

因编者水平所限，本书肯定还存在不足之处，欢迎读者指正，也恳望同行赐教。

编著者

2004.5

目 录

第一章 体言

第一节 名词	(2)
一、名词の数	(2)
二、常见近义名词的用法辨析	(2)
(一) となり、横	(2)
(二) 別、ほか	(3)
(三) なか(中)、うち(内)	(3)
(四) 学生、生徒	(4)
(五) 教師、先生	(4)
第二节 形式名词	(5)
一、形式名词こと、もの、の	(5)
(一) 形式名词こと主要功能	(5)
(二) 形式名词もの的主要功能	(5)
(三) 形式名词の的主要功能	(6)
二、こと、もの、の的区别	(7)
三、～ところだ、～ばかりだ	(7)
四、～あいだに、～うちに	(10)
五、～おかげで、～せいで、～ために	(12)
六、ものだ、ことだ	(13)
七、わけだ、はずだ	(18)
八、～あと、～てから	(22)

九、～ために、～ように……………	(24)
第三节 代词……………	(26)
第四节 数词……………	(27)
第二章 用言	
第一节 动词……………	(29)
一、按活用变化规则分类……………	(29)
二、以是否需要宾语为标准……………	(30)
三、动词的形态变化……………	(33)
四、动词活用形的用法……………	(35)
五、动词的音变(音便)……………	(37)
第二节 动词的时态……………	(38)
一、单句的时……………	(38)
(一) 现在时……………	(38)
(二) 将来时……………	(39)
(三) 过去时……………	(39)
二、定语结构的时……………	(40)
第三节 补助动词……………	(41)
一、ていく、てくる……………	(42)
二、てしまう……………	(42)
三、てみる……………	(42)
四、ておく……………	(43)
五、てあげる、てくれる、てもらう……………	(43)
六、てくれる、てくださる……………	(44)
七、てもらう、ていただく……………	(44)
八、ている……………	(45)
九、である……………	(46)

第四节 常用动词的辨析..... (47)

一、する、やる..... (47)

二、ある、持っている..... (47)

三、分かる、知る..... (48)

四、話す、言う、述べる..... (48)

五、終わる、済む、完了する、完成する、終了する
..... (49)

六、考える、思う..... (50)

七、聞く、尋ねる、伺う..... (50)

八、助ける、手伝う..... (51)

九、使う、用いる、使用する、利用する..... (52)

十、～てほしい、～てもらいたい、～ていただき
たい..... (53)**第五节 形容词**..... (55)

一、形容词Ⅰ..... (55)

(一) 形容词Ⅰ的活用..... (55)

(二) 形容词Ⅰ各活用形的用法..... (56)

(三) 常见形容词的区别..... (57)

二、形容词Ⅱ..... (59)

(一) 形容词Ⅱ的形态变化..... (59)

(二) 形容词Ⅱ各活用的用法..... (60)

第三章 接头词和接尾词**第一节 接头词**..... (62)

一、表示敬意、郑重..... (62)

(一) お..... (62)

(二) ご..... (62)

二、表示否定·····	(63)
(一) む ·····	(63)
(二) 不 ·····	(63)
(三) 非 ·····	(63)
(四) 未 ·····	(63)
第二节 接尾词·····	(63)
一、表示复数概念·····	(63)
(一) たち ·····	(63)
(二) がた ·····	(63)
(三) ら ·····	(64)
(四) ども ·····	(64)
二、表示难易·····	(64)
(一) にくい ·····	(64)
(二) やすい ·····	(64)
(三) づらい ·····	(64)
(四) がたい ·····	(64)
(五) 屋 ·····	(65)
(六) さ ·····	(65)
(七) み ·····	(65)
(八) がち ·····	(65)
(九) がる ·····	(65)
第三节 常见接尾词的区别·····	(66)
一、～始める、～出す、～かける·····	(66)
二、～さ、～み·····	(66)
三、～終わる、～終える、～切る·····	(67)
第四章 副词	

第一节 副词的分类	(68)
一、程度副词	(68)
二、状态副词	(69)
三、陈述副词	(69)
第二节 常见近义副词的区别	(70)
一、いちばん、もっとも	(70)
二、いつも、よく	(71)
三、けっして、ぜんぜん、ちつとも、まったく	(71)
四、たいへん、とても、ひじょうに	(72)
五、あたかも、まるで	(73)
六、急に、突然	(74)
七、偶然、偶に、たまたま	(74)
八、決して、絶対	(75)
九、少し、わずか	(76)
十、少しも、全然	(76)
十一、多分、恐らく	(77)
十二、つまり、すなわち	(77)
十三、必ず、きっと、ぜひ	(78)
十四、かなり、なかなか、ずいぶん	(79)
第五章 助动词	
第一节 助动词的分类	(81)
一、按意义分类	(81)
二、按接续法分类	(82)
三、按变化规律分类	(82)
第二节 常用助动词的基本用法	(82)
一、断定助动词だ、です、である	(82)

二、过去助动词た	(85)
三、否定助动词ない	(87)
四、敬体助动词ます	(90)
五、使役助动词せる、させる	(92)
六、被动助动词れる、られる	(96)
七、可能助动词れる、られる	(100)
八、敬体助动词れる、られる	(103)
九、自发助动词れる、られる	(105)
十、愿望助动词たい、たがる	(106)
十一、推量助动词う、よう、まい、らしい	(109)
十二、比况助动词ようだ、みたいだ	(115)
十三、样态助动词そうだ	(118)
十四、传闻助动词そうだ	(121)
第三节 同形、近义助动词辨析	(122)
一、助动词れる、られる的四种功能	(122)
二、表示推测、推量的助动词う、よう、らしい、 ようだ、そうだ的区别	(125)
三、样态助动词そうだ和传闻助动词そうだ	(128)
四、～かもしれない、～だろう	(130)
五、～ずに、～ないで、～なくて	(131)
第六章 助词	
第一节 格助词	(135)
一、格助词的用法	(135)
(一) が	(135)
(二) を	(135)
(三) に	(135)

(四) へ	(136)
(五) と	(136)
(六) で	(137)
(七) から	(137)
(八) より	(138)
(九) まで	(138)
二、近义格助词的区别.....	(138)
(一) 表示材料、原料的、から	(138)
(二) 表示原因的、で	(139)
(三) 位于地点、场所名词后面的、に	(139)
(四) 地点场所名词に和地点场所名词へ	(139)
(五) 表示起点的、を	(140)
第二节 提示助词和副助词.....	(141)
一、基本用法.....	(141)
(一) も	(141)
(二) まで	(141)
(三) さえ	(141)
(四) だけ	(142)
(五) しか	(142)
(六) ばかり	(142)
(七) こそ	(142)
(八) など	(143)
二、近义辨析.....	(143)
だけ、ばかり、しか.....	(143)
第三节 接续助词.....	(144)
一、接续助词的基本用法.....	(144)

（一）から	(144)
（二）ので	(144)
（三）て	(145)
（四）ながら	(145)
（五）ても	(145)
（六）ては	(146)
（七）し	(146)
（八）のに	(147)
（九）けれども（けれど、けども、けど）	(147)
（十）が	(148)
（十一）ところが	(148)
（十二）ところで	(149)
（十三）どころか	(149)
（十四）ば	(149)
（十五）と	(150)
（十六）たら	(151)
（十七）なら	(152)
第四节 并列助词	(154)
一、并列助词的用法	(154)
（一）と	(154)
（二）や	(154)
（三）とか	(154)
第五节 语气助词	(155)
一、语气助词的用法	(155)
（一）か	(155)
（二）よ	(155)

(三) ね	(155)
(四) な	(156)
(五) だい	(156)
(六) わ	(156)
第六节 近义表现的区别	(156)
一、は、が	(156)
二、～くせに、～のに	(158)
第七章 句法	
第一节 句子与句子结构	(161)
一、句子	(161)
二、句子结构	(162)
第二节 句子成分	(163)
一、句子的主要成分	(163)
二、句子的其他成分	(171)
第三节 句子类别	(176)
一、按谓语构成分类	(176)
二、按文体分类	(178)
三、按句子结构分类	(179)
第四节 陈述方式	(184)
一、谓语的陈述方式	(184)
二、提示助词与谓语陈述方式的呼应	(188)
三、陈述副词与谓语陈述方式的呼应	(189)
第五节 惯用型	(193)
参考文献	(216)

第一章 体言

体言是一个集合概念，就是名词、代词、数词的总和。

一、体言的共性

1. 体言是独立词，没有活用变化。
2. 体言不同于用言，不区分词干和词尾。
3. 体言后续助词が、は、も等构成句子的主语。
4. 体言后续助词を构成句子的宾语。
5. 体言后续助动词だ构成判断句的谓语。
6. 体言后续助词の构成定语，后续助词は、で等构成补语。
7. 体言可以受各种定语修饰，定语都位于所修饰的体言前面。

二、体言的用法举例

○田中さんは日本人です。/田中先生是日本人。(名词作主语，名词作谓语)

○彼はきのうテレビを買いました。/他昨天买了电视机。(名词作宾语)

○王さんは一人で北京へ来ました。/小王一个人来北京了。(名词作补语)

第一节 名词

名词是表示人、事物、处所和时间的词。名词属于体言，没有活用。可以后续が、を、に、の、で、は等助词，だ（です）等助动词构成句子的主语、谓语、定语、补语等。时间名词和数量名词具有副词用法，可以直接修饰用言。

一、名词的数

日语名词本身没有数的变化，只能通过构词手段来体现数的变化。常见的构词手段有：

1. 添加表示复数的接尾词。如：たち、ども、がた、ら。

学生たち/学生们

先生がた/老师们

私ども三人/我们三人

彼ら/他们

2. 通过名词重叠方式，构成叠语，表示复数。如：

山山（やまやま）/群山

人人（ひとびと）/人们

家家（いえいえ）/家家户户

二、常见近义名词的用法辨析

（一）となり、横

“となり”和“横”都表示处于并行排列状态的人或物。“となり”表示两者处于平等地位。“横”表示其中一方处于从属地位。因此“となり”通常用于描述属于同一范畴的东西，而

“横”描述的可以是同一范畴，也可以不是同一范畴的东西。下面的句子就只能用“横”。

○ソファの横にねこがいます。/沙发的旁边有只猫。

○玄関の横に立っている女の人はいだれですか。/站在门旁的女人是誰？

下面的句子既可以用“となり”，也可以用“横”。

○郵便局は東京駅のとなり（横）にあります。/邮局在东京车站的旁边。

（二）別、ほか

“別の”接近于英语 different 的意义，对等比较两事物，并包含两者不一致的意思。

“ほか”接近于英语的“other”或者“another”。如“別の日”通常指与话题正在讨论的时间不同的另外的特定的某一天。而“ほかの日”指不确定的某一天。

①私は田中さんと違う別の意見を持っている。/我和田中先生意见不一致。

②私はほかの人とは違う意見を持っている。/我和其他人意见不一致。

句①中以“田中さんの意見”与“私の意見”作为特定的对比的两方。因此不能用“ほかの”，而句②中，和我进行对比的对方并不明确，因此用“ほかの”。

（三）なか（中）、うち（内）

“なか”表示立体的空间范围。“うち”表示时间范围。

○アメリカの北部では真っ冬でも家の中は暖かい。/在美国的北部，即使是寒冬，家中也暖和。

○教室の中には四つの机があります。/教室里有四张桌子。